池上彰の インタビュー vol.51

All!

探検が教えてくれたいちばん大切なものは

吉晴さんにお話をうかがいました。
ニー」。2つの壮大なプロジェクトを成し遂げた探検家・関野列島にやって来た3つのルートをたどる「新グレートジャーだけをたよりに遡行した「グレートジャーニー」。人類が日本アメリカ大陸へ拡散した約5万3千キロを、自らの脚力と腕力かつてアフリカに誕生した人類が、ユーラシア大陸を渡って南

このインタビューは、2024年1月に収録しました。

撮影 吉永考宏

探検家

世書のよしはる

1949年、東京都生まれ。一橋大学法学部、横浜市立大学医学部卒業。一橋大学在学中に探検部を創設しアマゾン川全域を下る。外科医師となり病院に勤務するかたわら、25年間で32回南米に通う。1993年から10年をかけ、人類がユーラシア大陸を通って南アメリカ大陸にまで拡散した約5万3千キロの行程を遡行する旅「グレートジャーニー」を完遂。2004年から8年をかけ「新グレートジャーニー 日本列島にやって来た人々」を完遂。植村直己冒険賞受賞。武蔵野美術大学名誉教授。

探検に出れば何かが見つかると思った

をもったのですか。出かけていたそうですね。そもそもなぜ探検に興味生時代からアマゾン川全域を下るなど何度も探検に拠上、関野さんは、大学で自ら探検部を創設し、学

関野 高校時代、私は自分のやりたいことがわかり 関野 高校時代、私は自分のやりたいことがわかり を学校の往復を繰り返していた。あれこれ本を読ん でも「これをやりたい」というものが全く見つから でも「これをやりたい」というものが全く見つから ない。でももしかしたら、全く環境の違うところに 自分を放り込んでみたら、自分も変わって何か新し いことが見つかるかもしれない、と考えたんです。 いことが見つかるかもしれない、と考えたんです。 が有名でしたが、なぜ探検部のない一橋大学に進学 されたのですか。

関野 私は、登山家であり京都大学で霊長類研究所関野 私は、登山家であり京都大学で霊長類研究所関野 私は、登山家であり京都大学に行きたかったのですが、類学のパイオニアでもある梅棹忠夫さんに憧れていない 本当は京都大学に行きたかったのですが、類学のパイオニアでもある梅棹忠夫さんに憧れていた。

なそつなく大学生活をこなして就職していくんですり編入したりして、大学に8年いたのですが、みんほど集まりましたが、私と同じくらい本気の人は人ほど集まりましたが、私と同じくらい本気の人は「探検部員募集」と模造紙に書いて貼り出したら15



アマゾンの最長水源も決定的ではなかったので、

池上

私も同年代ですが、ストライキで授業もあり

池上 ずっと参加していました。当時、私は、他大学から 教えてもらえない。結局、早稲田の探検部の合宿に ものです。 南米を選んだのには何か理由があったのですか。 参加している唯一のメンバーでしたね。 その頃、

よ。それに、 先輩がいないので探検に必要な技術を

海外といってもいろいろあるのに、はじめに

ちはいちばん大きい川の水源に行こう」と。 ころがいいし、誰も行っていないところに行きたい した。「早稲田が世界でいちばん長い川なら、僕た 水源を見つけたんです。河口からいちばん距離が遠 い水源はヴィクトリア湖ではないということを発見 どうせ行くならいちばん探検にふさわしいと 早稲田の探検部がナイルの最長 当時は

いけがみ あきら (聞き手)

約がとれませんでしたね。

正直者だったんですね。

生に英字新聞の営業をするのですが、

私はあまり

の営業もやりました。大学の入学式に行って、

家・周庭さんをトロントで取材。

をたどって行くのが最初のミッションでした。 河の1滴から始まる水源の山に登って、 河口まで川

研究者、写真家などがありますが、私は旅先で出会

探検家と二足の草鞋を履くには、ジャーナリスト、 卒業後、どのような職業に就くのかは考えました。

ビジネス感覚はありませんよね。

も立つし飯も食えるだろう」と思い、急に医者を目 友だちでいたかったんです。「医者なら彼らの役に う人たちを取材や調査の対象として見るのではなく、

先住民と友だちでいるために医者になった

池上 はよく閉鎖されていました。 分の1はアルバイト、3分の1は探検、 代だけで資金の半分以上はなくなります。1年の3 0円の時代です。アルバイトで貯めたお金も飛行機 探検の旅費はどのように工面していたのですか。 格安航空券もなく通常料金でした。1ドル36 当時の飛行機代はかなり高かったでしょう。 1960年代後半、 初めてアマゾンに行ったのは50年以上前なの 全共闘時代ですから大学 残りが勉強

1950年、長野県生まれ。ジャーナリスト。名城大学教授。慶應義塾大学

卒業後、73年、NHK入局。報道記者として勤務。94年から11年間、「週 刊こどもニュース」で子どもたちにわかりやすくニュースを解説。2005 NHKを退局。『池上彰の君と考える戦争のない未来』(理論社)、『池 上彰の社会科教室』(帝国書院)など著書多数。本誌の対談を集録した 『池上彰が聞いてみた「育てる人」からもらった6つのヒント』(帝国書 も好評発売中。最近は、カナダに事実上亡命した香港の民主活動

学年が集まってしまった。1学年2、3人しかいな

生徒を広く募集したら中1から高3までバラバラの のではと考えて、団地の集会場で塾を始めたんです。 にわかったのですが、当時、もっと効率的に稼げる

いのに全学年の準備が必要で、時間と手間がかかる

のに収入は少ない。それで1年で諦めました。

それ以降は、いろいろなアルバイトをやりました 横浜港の船のウォッチマン、土木作業員、

新聞

関野 いちばん効率がいいのは家庭教師だと最終的

ませんでしたね。アルバイトは家庭教師です

池上 探検ガイドはありませんものね。 指すことにしました。 はじめは西洋医学を持ち込むのはよくないかも プロの山岳ガイドという職業はありますが 医者になってよかったと今では思います。 実

困るなと心配していたんです。ところが実際には ンや伝統医の権威が失墜する恐れがある。 ンは権力をもっていますから、 統医療があり、 しれないと思っていました。それぞれの民族には伝 西洋医学の効果があると、 ライバル視されたら シャーマ シャーマ

地図の空白地帯に飛び込んでいくのが

探検の醍醐味

池上 シャーマンこそ西洋医学を必要としていたわ 最初の患者がシャーマンでした。

けですね

アマゾン先住民の50年の変化を観察する

池上 と北さんが推してくれ、500万円を勝ち取りました。 北杜夫さんというそうそうたる顔ぶれで、西堀さん 接は、審査委員長が第一次南極観測越冬隊長も務め す。200件以上の応募のうち5件に残った最終面 ラン」にアマゾン探検の企画が通ったこともありま た探検家の西堀榮三郎さん、審査員に梅棹忠夫さん いました。産経新聞社の第3回「アドベンチャープ 20~30代の20年間のうち半分は南米に行って 何が決め手だったのでしょうね。

で、 したから、 でしたから自信がありました。メンバー3人全員が 地図の空白地帯を探検するという魅力満載のプラン 外部の人と接触したことのない先住民に出会い 現在の世界遺産、 アマゾンのパンチャコーヤという未探検地域 ほかとは気概が違ったと思います。 審査に落ちても自己資金で行く予定で ペルーのマヌー国立公園

支局長が東大隊のリーダーの伊藤千尋さんだった。 にサンパウロで新聞を読んでいたら、その新聞社の バーの一人に南米で再会するんです。探検をした後 大ジプシー調査探検隊」でした。数年後、そのメン 私たちのほかに審査に通ったのは、4人組の「東

> のアマゾン探検はいかがでしたか。 池上 人生は本当にわからないものですね。その時 て君が研究者になっていたね」と話したものです。 くんが落ちて僕が通っていたら、僕が探検家になっ になりました。ずいぶん経ってから再会して、「関野 山本紀夫さんはのちに国立民族学博物館の名誉教授 **関野** そのとき審査に落ちてしまった京大探検部の 南米に関する本のほとんどは、伊藤さんの著書ですね。 ね。伊藤さんのご著書は私もずいぶん読みました。中 朝日新聞社の伊藤千尋さんですか。 奇遇です

合っていかないと理解はできませんよね い先住民のことは、一緒に長い時間を過ごして付き な思いで探検していたのでしょうね。言葉も通じな 池上 地図をはじめに作った人たちは、みんなそん 独で探検しました。2人には一度も会わなかった。 上アマゾンにいましたが、ほとんどの行程を各々単 まさに探検の醍醐味で、面白かったですね。半年以 らない。地図のないところを自分で作っていくのが てGPSで居場所がわかりますが、それが全くわか べようと言って別れました。今なら地図が完備され ですね。3人で手分けして空白部分を片っ端から調 地図の空白地帯に入っていくのは面白かった

会った1歳の子がもう5歳。今ではもう5年の付き ら、最初は逃げて隠れてしまいました。あのとき出 先住民で、彼らはよその人間を知りませんでしたか 関野 アマゾンで出会ったのは、マチゲンガという

池上 年ですが5世代の付き合いになります。 んでいました。 都市に彼らを訪ねて行ったら、携帯電話を持ってい ティーンになる頃には、 早い人は15、16歳で子どもを産むので、 らの生活が変わっていく様子がよくわかりました。 1の乾電池を5列並べて充電器を作り、音楽を楽し ました。週末に村へ帰ると電波はありませんが、単 ただ、ハイスクールは都市に行かなければならない。 50代過ぎてひ孫ができる。 付き合いというのは、手紙のやりとりですか。 何度も現地に会いに行っています。 村に小学校ができました。 第4世代目がハイ 30代前半で たかだか50 だから彼

演奏しなくなるんです。 を叩いたり踊ったりする伝統的な彼らの音楽を全く ラシック、何でも聴ける。すると、若者たちは太鼓 池上 ダウンロードした音楽を聴くわけですね。 スマホがあればジャズやサルサ、ソウル、ク スマホは便利なところもあ

と思います。 池上 ハイスクール

や必要な道具が手に 森の奥に住むと現金 づらい。かといって とんどが村に戻って 関野 卒業するとほ は便利だけど、住み きます。都会の生活



るのですか。



池 上 らが決めることです。私たちも150年前と同じ服 変わるけど君たちは変わるな」とは言えません。 を着て茅葺きの家に住んでいる人はいない。「私は 港で売って利益を得て、服を買う。商売をするには どん変わっていく。最後に行ったときはエンジンつ 街の途中の場所に住んでいます。ただ、生活はどん ていました。でもそれは私が言うことではなく、 今ではすっかり現金の社会になっています。 斧やナタ、ナイフを買うためにも現金が必要です。 スペイン語も必要だし、自分たちで作れない刃物、 きのボートで迎えに来てくれました。バナナを川の 入らない。だから、彼らはJターンで、森の奥地と それは傲慢ですよね。 私は彼らが街に出なければいいのにと思っ 関野さんは、それぞれ 彼

ンゴロンゴロ自然保護区のサバンナを自転車で進む関野氏(タンザニア、2002年2月 撮影:街道憲久)。探検の必需品は、ガムテープだという。カヌーやテント、服が破れたときなど、緊急時の補修に欠かせない。

石器時代の人類に近づきたくて、 脚力と腕力だけで移動しようと決めた

見てこられたわけですね。

我々はどこから来たのか

のかという問いにも通じます。そこで、人類の起源のかという問いにも通じます。そこで、人類の起源関野 アマゾンやアンデスの先住民って、だいたい以野 アマゾンやアンデスの先住民って、だいたいトジャーニー」にもつながったのですか。

の文化がいろいろな文明と接触することによって、

人間や人間社会がどう変化していくのかをつぶさに

を求める旅をしたいと考えたんです。

ルートをたどりました。 はどこから来たのか」という疑問で始めたので逆ニー」と名付けたわけですが、私は「南米の先住民ブライアン・M・フェイガンが「グレートジャープライアン・M・フェイガンが「グレートジャー アフリカからシベリア、アラスカ経由で南米最南アフリカからシベリア、アラスカ経由で南米最南

と思います。旧石器時代に移動していた人たちに思来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」と来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」と来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」と来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」と連上 ポール・ゴーギャンの絵に「我々はどこから池上 ポール・ゴーギャンの絵に「我々はどこから

池上 武蔵野美術大学でも、文化人類学の教授としたが、一度は断ったんです。学校の先生になるす。宮本先生は武蔵野美術大学の教授だったので、民俗学者の宮本常一さんが初代所長を務めた日で、民俗学者の宮本常一さんが初代所長を務めた日で、民俗学者の宮本常一さんが初代所長を務めた日で、民俗学者の宮本常一さんが初代所長を務めた日度野 文化人類学や民俗学にずっと興味があったので、日かりそうな頂でしたから。

それに 私は自分で見たことを聞いたことを自分の頭で考え、自分の言葉で表現したい。自分で撮っることを紹介するような授業はしたくないと伝えたら、大学も私にそういうことを求めている、文化人ら、大学も私にそういうことを求めている、文化人ら、大学も私にそういうことを求めている、文化人ので、3年後、ゴールして2か月後には武蔵野美たので、3年後、ゴールして2か月後には武蔵野美たので、3年後、ゴールして2か月後には武蔵野美術大学の教壇に立っていました。

り頁で考え、自分り言葉で長見してい。自分で張ってれに、私は自分で見たことや聞いたことを自分かかりそうな頃でしたから。

便利で快適な現代の生活は、

人類を幸福にしてくれたのか

にも触れよ、ということですよね。作ったのと同じ発想ですね。自分の専門以外のこと池上 東京工業大学がリベラルアーツ研究教育院を

りフィールドに出ようという雰囲気がありますね。 になく学べます。学生たちにも、教室で勉強するよのほかに民俗学、社会学、心理学の先生もいるので、のほかに民俗学、社会学、心理学の先生もいるので、 が理や数学の といいの はい。武蔵野美術大学は建学の精神に「教養関野」はい。武蔵野美術大学は建学の精神に「教養

文明は本当に人を幸福にしているのか

りましたよね。
少生のみなさんと一緒にゼロからカヌーを作

池上 に行きましたが、「海上ルート」をグラスファイ 部からサハリン、北海道への「北方ルート」、ヒマ なら、古代の船を再現してみようと思い立ちました。 バーのシーカヤックで移動しても面白くない。それ レートジャーニーと同じように近代的動力を使わず 上ルート」。「北方ルート」と「南方ルート」はグ アニアに移動し、黒潮にのって九州に到達した「海 ラヤ南部からインドシナ半島、 やって来たのか。メインルートは3つ。ヒマラヤ北 始めたんです。 「南方ルート」、そして東南アジアから島伝いにオセ 2004年から「新グレートジャーニー」を 船の材料だけでなく、工具まで手作りという テーマは、 人類は日本列島にどう 朝鮮半島、 九州への

のは驚きました。

関野 古代の人たちは、自然から素材をとってきて 全て自分たちで作っていました。そして、斧、ノ っくりをしたくて、砂浜から磁石で砂鉄を集め、刀 でくりをしたくて、砂浜から磁石で砂鉄を集め、刀 でかし、たたら製鉄をやりました。アマゾンの人たち のたちで作っていました。アマゾンの人たち

たいへんだったでしょう。 くりをしているとはいえ、工具から手作りするのはくりをしているとはいえ、工具から手作りするのは

関野 そうですね。刀鍛冶の職人さんに「だいたい 5キロくらいの工具を作りたい」と相談したら、 「砂鉄120キロと炭を300キロ集めてください」 焼き名人を連れて行き、300キロの炭を焼きました。たった5キロの鉄を作るのに300キロの炭が が要で、そのためには3トンの木を伐採しなきゃいけない。鉄の歴史=森林伐採の歴史だということが 体験としてわかりました。

すが、それでいいのか。実は、これまでの探検の中関野 文明は本当に人を幸福にしているのかというを振り返り、いろいろなことを考えたでしょうね。

関野 はい。そこで本当に酷い目にあった方でした。 1歳の子どもと奥さんは、解放されたときには亡く なってしまっていた。それでも、その人は解放されたとき、「雲の形も空の色も違って見えた」と話し てくれたのです。解放感にあふれていたと。その後 はロシアに残って暮らしていたのですが、「自分は はロシアに残って暮らしていたのですが、「自分は はロシアに残って暮らしていたのですが、「自分は はロシアに残って暮らしていたのですが、「自分は とにかくこんな年まで生きてこられたから」と。 私は信じられませんでした。そんなにつらい思いを してきたのに、どうして「ラッキーだった」と言え るのか、その場では納得がいかなかったんです。

後と別れた後、ようやく気がつきました。彼は捕した。 はと別れた後、ようやく気がつきました。彼は捕した。 を選べること、好きなこと、自分の好きな土地に住め を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きなこと、自分の好きな土地に住め を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きな上地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べること、好きな土地に移動できること、好きな仕事 を選べるのだろうと思ったのです。

最初からそのありがたさを自覚していなければなら汚されて初めてその大切さに気づく。でも、本来はだってきれいなのは当たり前だけど、それが壊れ、空気だって水だって、きれいなのは当たり前、大地かる。大切なものは、本当に普通のものなんです。本当に大切なものは、なくなったときに初めてわ

思います。 ば、ちょっとくらい不便でも我慢できるのだろうと は、そういうことなのだと思います。それさえあれ 水や空気がきれいだ、文明よりもはるかに大切なの ない。家族と一緒に住める、仲間と一緒にいられる、

子どもにたっぷりの「時間」を与えてほしい

そうですね 関野さんは今年で75歳ですが、とてもお元気

実は私も生きていけます。地主さんが「1ヘクター 急にどこかの森に残されても生きていけるのですが、 けど、友人に会いに行きたいというくらいです。 にナイフも持たずに手ぶらで、森で生きていけるか 言って土地を貸してくれたので、徒手空拳、要する ゾンの人たちはナイフ1本さえあれば、目隠しして なとは思っています。アマゾンは何度でも通いたい 好きに使っていい、木も自由に切っていい」と 最近は東京の森で、ある実験をしています。アマ 後期高齢者ですから、 空間の旅はもういいか



と、完成した家(下)(東京の森にて。 関野吉晴)。

本当のチャレンジに失敗はつきもの チャレンジするためには十分な時間が必要

です。 完成しました。近々10日間ほど、そこに泊まる予定 います。家は1年がかりで先週 ものは普通に使って、住む家と食事を自給自足して りから始めました。服と靴、帽子など、身に着ける を実験中です。ナイフがないので、まずは石器づく (2024年1月)

とはありますか ても私と一つ違いとは思えないエネルギーです。 最後になりますが、 後期高齢者の方の行動ではありませんね。 読者のみなさんに伝えたいこ と

チャレンジをするためには10年は必要です。 く作るしかありません。学校でも会社でも、大胆な げてこいという課題がありますが、それではそつな しいと思います。美術大学でも3か月で作品を仕上 関野 たっぷりの「時間」を子どもたちに与えてほ

うだ」と思い、どうなるかわからない私に、フィル したら、あるテレビ局のプロデューサーが私を見込 れるあてなんて全くないのに撮影隊も作った。そう ムや取材費を出して、育ててくれました。 プロデューサーは、「こいつは10年後に何かやりそ んでくれて、おかげで探検を続けられました。その グレートジャーニーは借金をして始めました。売

いと思うと、ただこなすだけになってしまう。 を上げろ」と言われてしまう。その上司も、そのま 今の社会では「効率よく成功しろ。ちゃんと成果 そう言われています。失敗しちゃいけな

> れてくると思います。 に努力はしながら、 と、大きなことにチャレンジする人がたくさん生ま 本当のチャレンジができる「時間」を子どもたち、 ができるようになるわけです。大人のみなさんは、 若者たちにたっぷり与えてほしい。そうすればきっ て、失敗を繰り返して賢くなるうちに、 本当のチャレンジというものは、失敗しないよう 失敗も想定に入れておく。そし 大きなこと

対談編集/太田美由紀、天然社

きに初めてわかる。数々の探検を重ね 大自然の中で生活してみることでしょ が失われかかっているのに気がつかな まった現代人の私たちは、大切なもの あります。便利な生活に慣れきってし てきた関野さんの言葉だけに説得力が いのではないか。それを知るためには 本当に大切なものは、なくなったと

それは大自然の中で「大切なもの」を を続けること。 体得されたからではないか。常に挑戦 仲間入りをされるのに、この頑健さ。 きていこうではありませんか。 関野さんは、まもなく後期高齢者の 関野さんに負けずに生

